

新しい滋賀の魅力をつくる文化・スポーツ戦略の推進

資一総政1			
企画調整課	3313	文化振興課	3341
障害福祉課	3542	スポーツ健康課	4611
文化財保護課	4672		

計画期間：平成27年度（2015年度）～平成30年度（2018年度）

【予算額 151,616千円】

目指す方向 「文化とスポーツの力」を活かして

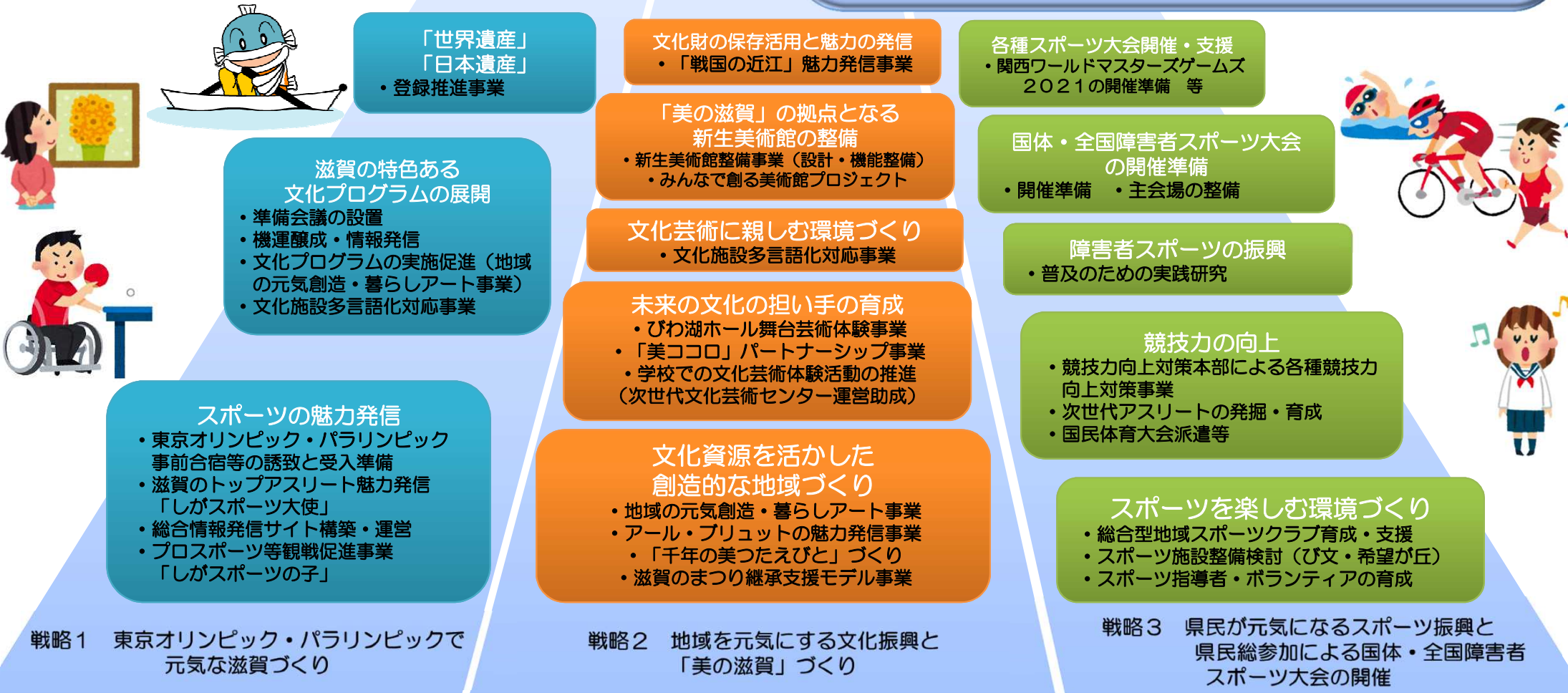
・楽しさいっぱいの滋賀！

・新しい滋賀の魅力を発信！

・人と人がつながる滋賀！

平成36年（2024年）の滋賀の姿

1. すべての県民が日常的に文化やスポーツの「する」「みる」「支える」に参画している
2. 新しい滋賀の魅力となる文化やスポーツの場（施設・イベント）が定着している
3. 滋賀の文化やスポーツを楽しむ国内外からの来訪者が増えて地域が活性化している



「世界遺産」
「日本遺産」
・登録推進事業

文化財の保存活用と魅力の発信
・「戦国の近江」魅力発信事業

各種スポーツ大会開催・支援
・関西ワールドマスターズゲームズ
2021の開催準備 等



滋賀の特色ある
文化プログラムの展開
・準備会議の設置
・機運醸成・情報発信
・文化プログラムの実施促進（地域の元気創造・暮らしアート事業）
・文化施設多言語化対応事業

「美の滋賀」の拠点となる
新生美術館の整備
・新生美術館整備事業（設計・機能整備）
・みんなで創る美術館プロジェクト

国体・全国障害者スポーツ大会
の開催準備
・開催準備 ・主会場の整備



文化芸術に親しむ環境づくり
・文化施設多言語化対応事業

障害者スポーツの振興
・普及のための実践研究

未来の文化の担い手の育成
・びわ湖ホール舞台芸術体験事業
・「美ココロ」パートナーシップ事業
・学校での文化芸術体験活動の推進（次世代文化芸術センター運営助成）

競技力の向上
・競技力向上対策本部による各種競技力向上対策事業
・次世代アスリートの発掘・育成
・国民体育大会派遣等



スポーツの魅力発信
・東京オリンピック・パラリンピック
事前合宿等の誘致と受入準備
・滋賀のトップアスリート魅力発信
「しがスポーツ大使」
・総合情報発信サイト構築・運営
・プロスポーツ等観戦促進事業
「しがスポーツの子」

文化資源を活かした
創造的な地域づくり
・地域の元気創造・暮らしアート事業
・アール・フリユットの魅力発信事業
・「千年の美つたえびと」づくり
・滋賀のまつり継承支援モデル事業

スポーツを楽しむ環境づくり
・総合型地域スポーツクラブ育成・支援
・スポーツ施設整備検討（び文・希望が丘）
・スポーツ指導者・ボランティアの育成

戦略1 東京オリンピック・パラリンピックで
元気な滋賀づくり

戦略2 地域を元気にする文化振興と
「美の滋賀」づくり

戦略3 県民が元気になるスポーツ振興と
県民総参加による国体・全国障害者
スポーツ大会の開催

しがスポーツの魅力総合発信事業

【予算額 9,700千円】



オリンピック・パラリンピックは東京でやるから関係ないよね…

スポーツをしたいし、見たいし、する人のお手伝いをしたいけど…

滋賀って、スポーツ強かったっけ？あんまりそんな印象ないけど…

【現状・課題】

- ◆オリンピック・パラリンピックの開催効果を東京一極集中ではなく、本県にも積極的に取り込む必要がある。
- ◆現在は、県や市町、民間団体などがバラバラに情報発信しており、必要な情報がわかりにくい。
- ◆本県ゆかりのトップアスリートの活躍など、滋賀のスポーツの魅力や情報が効果的に発信できていない。

東京オリンピック・パラリンピックで
滋賀を元気にするプロジェクト
「しがスポーツ大使」&事前合宿誘致
【2,807千円】

総合情報サイト
「しがスポーツナビ」
構築・運営
【5,873千円】

プロスポーツ等
観戦促進事業
「しがスポーツの子」
【1,020千円】

スポーツ振興の
ための組織体制
検討

新 ◆本県ゆかりのトップアスリートやプロスポーツチームを「しがスポーツ大使」に任命。滋賀の多様な魅力を広く発信。
◆大使が地域の運動会や子ども体験教室等で県民と直接交流する機会の創出支援。

◆競技団体や市町と連携し、東京オリンピック・パラリンピックの事前合宿等の誘致活動を展開（国内）。
※海外での誘致活動を展開（26年度補正予算）

新 ◆コンテンツ ◆
○スポーツ大使紹介
○競技紹介
○イベント情報
○施設検索
○指導者情報
○ボランティア情報
○事前合宿情報 等

新 ◆子どもたちがトップレベルのスポーツを生で観戦し、将来への夢や希望を育む機会を提供。
◆県内開催のホームゲームに小中学生の団体を招待する場合に、入場料減免額の一部を補助。

新 ◆県内の団体・企業等が連携して取り組む組織体制を検討
◆スポーツを観光資源としたツーリズムで地域を活性化する組織「地域スポーツ・コミッション」も視野に入れて検討。

本県の地の利を活かした地域振興の展開

資一総政2

企画調整課 内線3315
 新駅問題・特定プロジェクト対策室 内線3330
 文化振興課 内線3344

びわこ文化公園都市(仮称)スポーツ・健康づくり拠点整備計画等検討事業 平成27年度予算額 20,000千円



総合政策部新駅問題・特定プロジェクト対策室

び文の経緯

- 昭和54年 「びわこ文化公園都市構想」を公表
- 昭和57年 「びわこ文化公園都市基本計画」を公表
5つのクラスター(ゾーニング)と、これらを結ぶ軸となる「緑の回廊」を位置付け
- 昭和59年 「緑の回廊基本計画」を策定
- 平成24年 「びわこ文化公園都市将来ビジョン」を策定
- 現在、24施設が立地

国体主会場選定時の付帯意見

「希望が丘文化公園、びわこ文化公園都市は、本来のコンセプトや地の利を活かすことで、より一層の活用が見込めると考えられることから、県においては、将来のスポーツ推進に向けて、それぞれの施設のあり方や活用方法を検討されたい。」

び文の強み

- (1) 人口集積地に近い
- (2) 高速道路のアクセスが良好(名神・新名神の結節点)
- (3) 多様な立地施設・資源との連携を活かした展開が期待できる

H27の取組

- ◆趣旨 国体主会場選定時の付帯意見を受けて、びわこ文化公園都市の強みを活かして、スポーツ・健康づくり拠点の整備を中心とした、全体の土地利用計画を検討する。
- ◆内容 (1) 検討懇話会の設置・開催 (2) 調査検討業務委託

米原駅周辺活性化による県広域振興推進事業

平成27年度予算額 5,000千円

総合政策部新駅問題・特定プロジェクト対策室

事業概要

米原駅周辺の活性化を図り、県東北部の広域振興に資するため、米原駅東口県有地を中心とした利活用計画を検討する。

背景・経過

米原駅の東口における県有地については、これまで米原市と連携しながら企業動向等の把握や企業情報を持つ機関と情報交換を行ってきたが、具体的な利活用方針の決定には至っていない。米原駅東口の県有地等の利活用を進め、中部圏・北陸圏との結節点としての地の利を活かした滋賀の活性化を進めていく。

※ 米原駅東口の市有地については、平成24年に米原市がプロポーザルを実施して以降、随時利活用事業者を募集してきたが、一部土地を除き、利活用事業者が確定していない。

土地の概要

米原駅東口	県有地	約2.1ha	
	隣接市有地(未利用分(保留地含))	約2.8ha	合計 4.9ha

検討の進め方 H27の取組

総合政策部を中心として関係部局で構成する検討会議を設置し、米原市と調整・連携しながら、米原駅東口県有地に隣接する米原市有地との一体的な利活用の可能性も視野に入れて検討を進める。

【検討スケジュール(予定)】

平成26年9月	検討会議立ち上げ・検討開始
平成26年10月～平成27年3月	基本方針の検討
平成27年度	基本方針に沿った具体的な利活用内容等の検討

- (1) 有識者意見聴取等
- (2) 検討調査事業委託

⇒ び文のポテンシャルの活用と地域活性化

中部・北陸圏との広域連携推進事業

【平成27年度予算額：1,000千円】

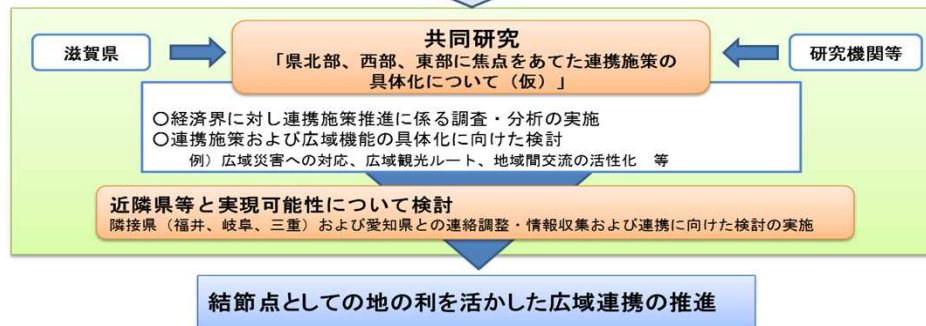
総合政策部企画調整課広域連携推進室



圏域の結節点としての滋賀県の役割が重要

- ・リニア開通による中部・北陸・近畿圏の連携の重要性
- ・相互経済圏時代における圏域隣接地域の重要度の高まり
- ・地の利を活かした広域機能の必要性

果たすべき広域機能と連携施策の検討
 各圏域の経済界から意見を聞き具体化することが重要



⇒ 米原駅周辺の活性化・県東北部の広域振興

希望が丘文化公園将来ビジョン策定事業

総合政策部(文化振興課)
 平成27年度予算額3,000千円

背景

- 昭和47年の開園後42年が経過し、希望が丘文化公園の今後のあり方・役割を明確にすることが必要。
- 東京オリパラ・国体をはじめとした大規模なスポーツイベントが今後開催予定。
- 国体主会場選定委員会から「本来のコンセプトや地の利を活かし、将来のスポーツ推進に向けて施設のあり方や活用方法の検討」の付帯意見。

現状

年	S47	50	53	58	63	H5	10	15	20	25
傾向	横ばい傾向									

年	S47	50	53	58	63	H5	10	15	20	25
傾向	減少傾向									

検討イメージ

施設のファミリーティマネジメント → 希望が丘ブランドの構築 → 将来ビジョンの策定 → 魅力的なプログラム → 大規模なスポーツイベント

H26～庁内WG・有識者委員会の開催
 H27 策定事業委託
 将来ビジョンの策定
 H28 基本計画の策定

県民が日常的に文化・スポーツ・自然に触れる拠点

調査内容

- 施設の点検、大規模改修のリスクシミュレーション
- 大規模スポーツイベントを捉えた機能的な施設のあり方の検討
- 希望が丘文化公園の強みを活かした魅力的なプログラムの検討
- 希望が丘ブランドの構築の検討

本来のコンセプト

「すぐれた自然環境を保護・活用し、県民にいい場所を提供するとともに、広く県民文化、体育の向上に資する」
 (「滋賀県希望が丘文化公園の設置および管理に関する条例」)

継承・発展

滋賀・びわ湖ブランド推進事業

平成27年度予算額:275,600千円

資一総政3

企画調整課
内線3313

滋賀・びわ湖+DESIGNプロジェクトの展開

① 滋賀・びわ湖+DESIGNプロジェクト

ブランディングディレクターのもと、平成26年度のリサーチで浮かび上がった「滋賀の魅力」を、具体的に発信する素材を作成し、イベントやWEB等により、積極的に全国に向けて発信！！



ブランディングディレクター
服部 滋樹



“びわ湖はもちろん、その周囲にある陸、そしてそこに暮らす人々を結んでいくことをブランディングの骨子とし、滋賀に存在する魅力の一つひとつを線で結び、面として滋賀をブランディングしていく”

② 首都圏「滋賀・びわ湖ブランド」発信拠点整備に向けた期待感醸成

早稲田大学自治体連携講座や、ゆかりの方々・企業等とのネットワークづくりなどにより、新たに整備する首都圏発信拠点のオープンに向けた期待感を醸成。

テーマごとに滋賀の魅力をリサーチ

歴史・文化

旅・
ツーリズム

アート・
クラフト

食・農業

地場産業・
伝統技術

風景・自然

「滋賀・びわ湖ブランド」を
全国に展開するには首都圏で
の発信が極めて重要！！

(テーマ例)

琵琶湖の周囲で様々なブランドに関わる人々をクローズアップし、結ぶことでブランドを向上

首都圏「滋賀・びわ湖ブランド」発信拠点の整備

① 目的

- 地域ブランド力の向上
- 滋賀への還元力の向上



② コンセプト

“認知度の低い滋賀のブランド化。魅せることで価値を引き出す”

- デザイン力でむすぶ
- 発信力でむすぶ

③ 拠点の機能

“いわゆるショップではなく、滋賀のショールーム”

- | | |
|-----------|----------|
| i. 情報発信機能 | iv. 案内機能 |
| ii. 相談機能 | v. 飲食機能 |
| iii. 営業機能 | vi. 販売機能 |

平成27年度犯罪被害者支援強化事業

資一総政4
県民活動生活課
内線3416

【予算額3,908千円】

県民活動生活課 安全なまちづくり担当

事業の目的

性暴力被害者支援のため、平成26年度から「性暴力被害者総合ケアワンストップびわ湖 SATOCO」を医療機関、相談機関、捜査機関との連携により開設している。

性暴力被害者の相談体制の強化や性暴力被害者対応の相談員、支援員等の人材育成を支援することで、安全・安心な社会づくりを進める。

事業の概要

予算総額 3,908千円

〔内訳：委託料 3,808千円、事務経費 100千円〕

SATOCO 相談件数
延べ165件(4~9月末現在)

■SATOCO支援体制整備事業

○被害者支援体制強化事業 2,221千円

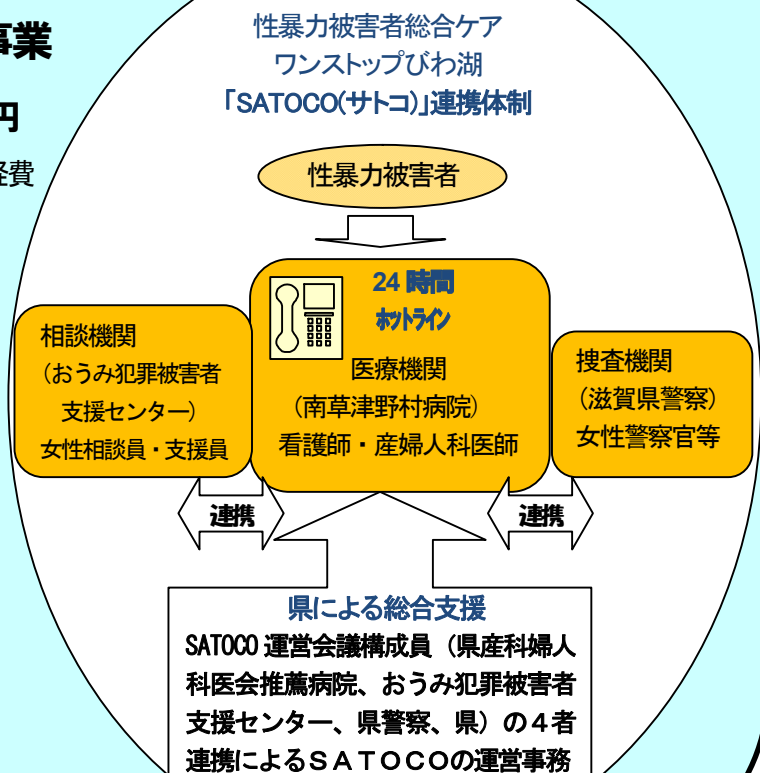
*夜間等緊急業務対応費用や24hホットライン運営経費

○人材育成事業 1,587千円

*性暴力被害対応相談員、支援員等の研修費

○広報啓発事業 100千円

*SATOCOの広報・啓発



被害者等

相談

診察治療
事件捜査

保護措置

カウンセリング

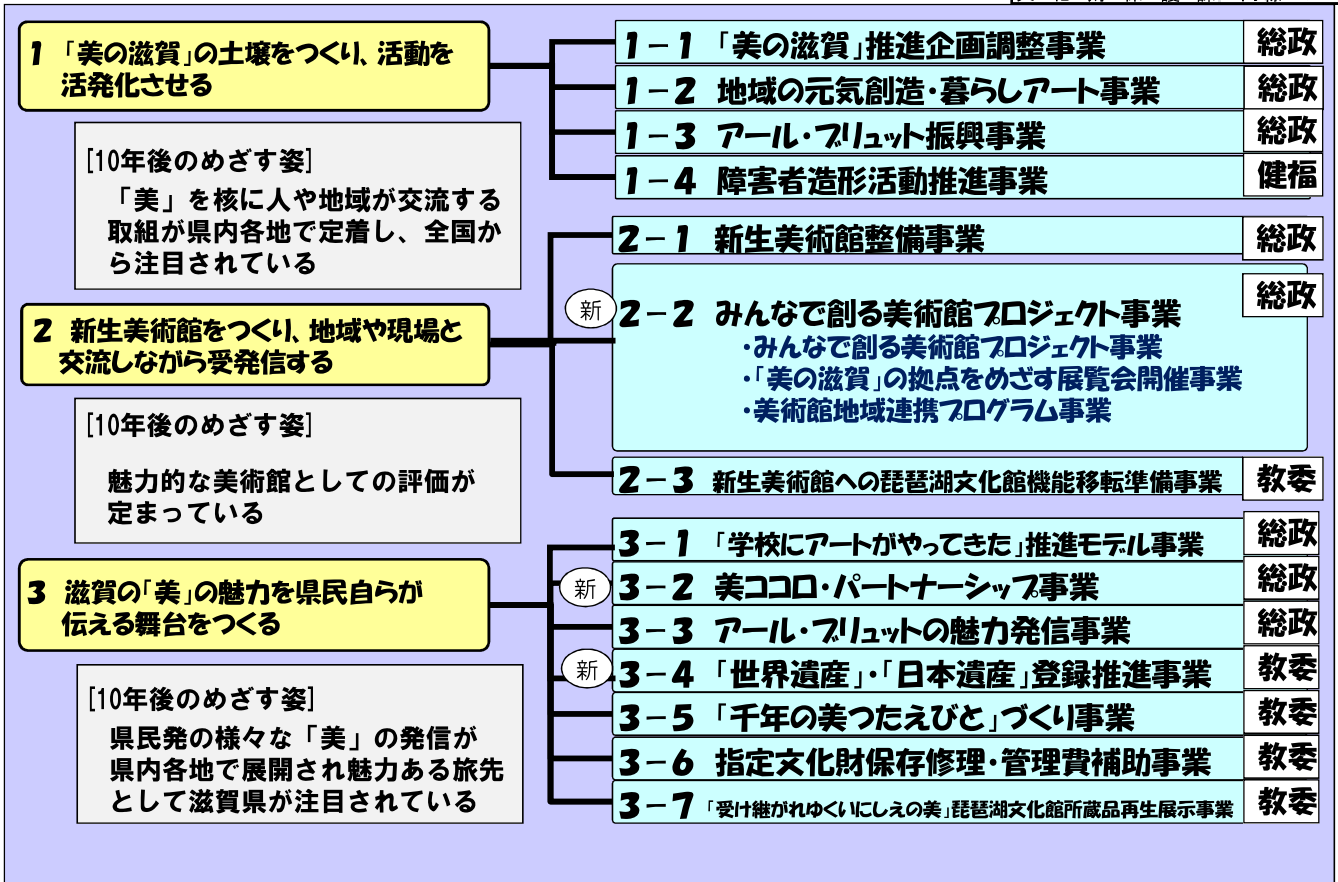
生活支援

- ・安全確保
- ・被害の拡大予防
- ・未然防止
- ・必要な支援

迅速・適切な対応 途切れることのない支援

文化振興課	内線3341
新生美術館整備室	内線3346
障害福祉課	内線3542
文化財保護課	内線4671

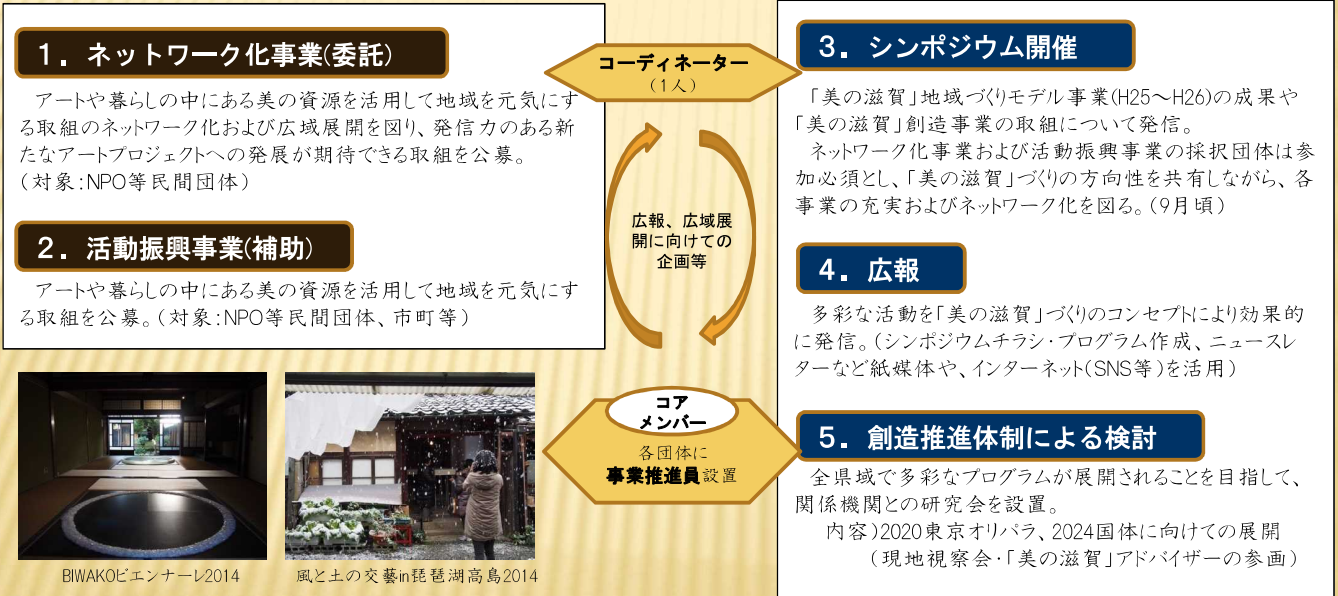
平成27年度「美の滋賀」づくりの推進



地域の元気創造・暮らしアート事業 （「美の滋賀」創造事業）

H27予算額 18,742千円

NPOなど多様な主体が実施する、アートや暮らしの中にある美の資源を活用して地域を元気にする取組を支援し、ネットワーク化および広域展開を促進することで、多彩な文化プログラムの展開および発信力のある新たなアートプロジェクトへの発展を目指します。



東京オリンピック・パラリンピックに向けて、多彩な文化プログラムの展開
新たなアートプロジェクトへの発展・元気で創造的な地域づくり

新生美術館の整備【平成27年度予算概要】

当初予算額 182,941千円
(近代美術館・文化財保護課予算を含む)

資一総政5

新生美術館整備室
内線3346

新生美術館整備事業

137,756千円

施設整備

79,566千円

①基本設計・実施設計

新館建築、既存館改修、公園改修の設計を一体的に実施
(H28年度までの合計180,000千円)

②地盤調査

新館建築予定地の地盤状況を調査

③整備推進アドバイザー会議

④整備検討調整業務

美術館機能向上

27,716千円

①交通アクセス向上プロジェクト

来館者の増加に対応した、交通アクセス向上策の検討

②作品収集・制作

滋賀にゆかりの作家やアール・ブリュット作品の収集、恒久展示作品制作調査

③情報システム整備

作品や資料の情報をデータベース化、外部に提供するためのシステム構築検討

琵琶湖文化館機能移転

30,474千円

①作品移転に向けた調査・修復 (文化財保護課)



みんなで創る
美術館の実現!



みんなで創る美術館プロジェクト事業

45,185千円

地域・県民との連携・情報共有

4,369千円

①全県推進体制

みんなで創る美術館プロジェクト推進会議、連携推進懇話会の設置

②整備情報発信・アーカイブ化

整備の方向性や情報をお知らせするフォーラム開催、リーフレット制作と、整備過程のアーカイブ化

①設計業務における参画の推進

設計業務の実施にあたり、ワークショップ等により県民の参画をすすめる

「美の滋賀」拠点づくり

35,630千円

①「美の滋賀」拠点形成フェア

「美の滋賀」の魅力を楽しめるフェアを近代美術館および周辺公園内で開催

②「美の滋賀」の拠点をめざす展覧会 (近代美術館)

近代美術館で「志村ふくみ」と「アール・ブリュット」の企画展を、地域の施設や団体との連携により開催

地域とつながる美術館

5,186千円

①美術館地域連携プログラム (近代美術館)

県内各地の施設・団体等と連携し、ワークショップやトークを実施

②アートバス運行モデル事業

美術館と県内各地を結び、アートツーリズムのモデル提案にもつながるバスを運行

「美の滋賀」の魅力に出会い楽しめる美術館
をめざし、平成31年度までにオープン!

平成26年度 (2014年度)	平成27年度 (2015年度)	平成28年度 (2016年度)	平成29年度 (2017年度)	平成30~31年度 (2018~19年度)
(設計者決定)	工事設計		新館建築・公園改修工事	
			(休館)	既存館改修工事
		作品収集・恒久展示作品制作		



カラット CARAT滋賀・女性・元気プロジェクト 平成27年度の展開

資一総政6
男女共同参画課
内線3070

【予算額 859,503千円】

ワーク・ライフ・バランスの推進

- [新]・いいね！男性の多様な生き方応援事業 【男女共同参画課：1,296千円】
- [新]・滋賀のイクメン養成講座開催事業 【男女共同参画課：1,300千円】
- [新]・滋賀のイクメン・イクボス発掘・発信事業 【男女共同参画課：1,416千円】
- [新]・男性の仕事と家庭の両立研究会開催事業 【男女共同参画課：371千円】
- ・男性の育児休業取得奨励金支給事業 【男女共同参画課：1,600千円】
- ・介護の職場環境改善アドバイザー派遣事業 【医療福祉推進課：14,000千円】
- ・ワーク・ライフ・バランス推進事業 【労働雇用政策課：2,699千円】
- [新]・地域を支える建設産業魅力アップ事業 【監理課：8,000千円】

女性活躍に向けた企業の取組促進

- [新]・滋賀のイクボス養成講座開催事業 【男女共同参画課：1,000千円】
- [新]・企業における女性活躍推進事業（経営者編） 【労働雇用政策課：415千円】

キャリア・アップへの支援

- [新]・企業における女性活躍推進事業（働く女性編） 【労働雇用政策課：585千円】

仕事と子育ての両立支援

- [新]・28歳からのハッピーキャリアCafe開催事業 【男女共同参画課：305千円】
- [新]・育休後のハッピーキャリアCafe開催事業 【男女共同参画課：525千円】
- [新]・介護事業所内保育所開設支援事業 【医療福祉推進課：4,308千円】
- ・子育て支援環境緊急整備事業費補助金 【子ども・青少年局：382,451千円】
- [新]・家庭的保育者等養成事業 【子ども・青少年局：1,500千円】
- [新]・放課後児童支援員認定資格研修事業 【子ども・青少年局：2,500千円】
- [拡]・保育士・保育所支援センター運営事業 【子ども・青少年局：9,198千円】
- ・保育士修学資金貸付事業 【子ども・青少年局：265,752千円】

キャリア形成支援

- ・県立高等学校キャリア形成支援事業 【学校教育課：2,233千円】
- [新]・専門高校プロフェッショナル人材育成事業 【学校教育課：4,085千円】

キャリアビジョンが描ける

進路選択

県庁における取組

- [新]・女性職員の活躍推進事業 【人事課：1,058千円】

仕事と子育てが両立できる

結婚・出産・子育て



就職



ワーク・ライフ・バランスが実現できる

継続就労

起業

様々な分野で起業ができる



再チャレンジができる

再チャレンジへの総合的支援

- ・滋賀マザーズジョブステーション事業 【男女共同参画課/子ども・青少年局/労働雇用政策課：51,498千円】
- [新]・潜在有資格者再就業支援事業 【医療福祉推進課：7,175千円】
- [新]・子育て女性等職業能力開発事業 【労働雇用政策課：15,851千円】

キャリア・アップ



女性リーダー等の交流推進

- ・女性医師ネットワーク運営事業 【健康医療課：26,123千円】

起業への多面的なサポート

- ・中小企業金融対策費・開業資金（女性創業枠） 【中小企業支援課：35,486千円】
- [拡]・女性のためのアグリビジネス・サポート事業 【農業経営課：4,500千円】

多様な活躍への支援

- [新]・市町女性活躍推進事業費補助金 【男女共同参画課：9,140千円】
- ・女性のチャレンジ支援事業 【男女共同参画センター：1,773千円】
- [拡]・国体に向けた競技力向上対策事業（女性アスリート・指導者育成支援事業） 【スポーツ健康課：1,360千円】

女性の管理職が増える

滋賀マザーズジョブステーション

【滋賀マザーズジョブステーション事業 予算額 51,498千円】
(男女共同参画課 41,529千円、子ども・青少年局 2,280千円、労働雇用政策課 7,689千円)

滋賀県では、結婚・出産・育児期に一旦仕事を辞める女性が多い状況にある。その理由として、子育て期の男性の長時間労働の問題、仕事と子育て、家事との両立が難しい実態、女性にとっては仕事か家庭か二者択一を余儀なくされる状況等が考えられる。

子育て期の女性(無職)の6割が、就職を希望!

仕事と子育ての両立に向けての不安・心配

- ・仕事をしながらの子育ての不安
- ・勤務時間や条件等の不安
- ・求職中の託児の問題
- ・企業とのマッチング など



子育て中の女性に対し、就職活動をスムーズに始めるための支援が必要

滋賀マザーズジョブステーション

出産や子育てによる離職後、再就職を希望する女性、仕事と子育ての両立に悩む女性、社会へ一歩踏み出したい女性等の就労を応援する**ワンストップの窓口**。

平成23年10月 県立男女共同参画センター内に設置

平成26年 8月 JR草津駅東口隣接 ガーデンシティ草津内に設置

NEW! 平成27年 県下3ヶ所(湖西・湖北・高島)で出前セミナーを開催

- 就労支援相談(キャリアカウンセリング、両立支援相談)
- 母子家庭等就業・自立支援センター(県立男女共同参画センター内)
- ハローワークコーナー
- 託児サービス、就職に向けてのセミナーの実施



託児付き

女性のチャレンジ支援
起業や社会参画したい思いを応援

女性のキャリアアップ支援
働き続けたい思いを実現

女性の多様な生き方を応援し、
活躍の場が広がる魅力ある滋賀

県域無料Wi-Fi整備促進事業

資-総政7

情報政策課
内線 3381

(事業の目的)

- ◆ 国内外から滋賀への訪問者をはじめ、誰でも手軽に観光地などの訪問先でインターネットが利用できる無料Wi-Fi環境の一層の整備促進と利用方法などの利便性向上により、滋賀の「おもてなし」環境の充実を図る。
- ◆ 大規模災害等発生時における通信手段の一つとして、無料Wi-Fiを活用する。

予算額 12,627千円

(県域Wi-Fi環境の現状と課題)

- Wi-Fiスポットの多くは、特定契約者向け、あるいは有料制や会員制であり、外国人旅行者などが簡単に利用できる無料Wi-Fiスポットが少ない。
- Wi-Fiスポットごとに利用方法や接続方法が異なるため、行く先々で接続操作をやり直さなければならず不便。
- 統一した案内サイトがないため、無料Wi-Fiがどこで利用できるか、どうすれば利用できるかわかりにくい。

(目指す姿)

- 外国人旅行者など誰もが利用できる無料Wi-Fiスポットが充実している。
- 大規模災害時には、携帯電話不通でも、Wi-Fiスポットで無料で通信ができる。
- 一度の認証操作でどこでも使える。
- どこで無料Wi-Fiが利用できるかすぐ分かる。

**誰もが簡単にWi-Fiに
接続できる環境を**

県域無料Wi-Fi整備促進事業

平成27年度
事業

(仮称)滋賀県県域無料Wi-Fi整備促進協議会運営

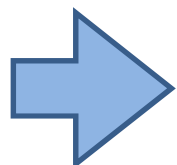
- 観光・商業関係団体、Wi-Fiサービス関係事業者、各市町等からなる協議会を運営し、無料Wi-Fiの整備促進および利便性向上のための諸条件について検討する

無料Wi-Fi案内サイト構築、利用者向け啓発

- 県内無料Wi-Fi検索サイトの構築および啓発資材を作成し、県内無料Wi-Fi利用者へ利用案内等のPRを行う

県立施設無料Wi-Fi整備事業

- 観光拠点または防災拠点として無料Wi-Fi環境が必要となる県立施設に設備・通信回線等を整備する



県域無料Wi-Fi環境の充実